

## 2. 「スタートカリキュラム」をデザインする手順

幼児期における遊びを通しての総合的な指導を通じて育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されるようにするためには、小学校入学当初の学校における教育活動全体を対象として、カリキュラムをデザインしていくことが欠かせません。基本的な考え方を踏まえ、スタートカリキュラムをデザインするには、次のような手順で進めることが考えられます。

### (1) 幼児期の発達や学びを理解する

- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえる。
- ・園・所への訪問や保育者との意見交換等により、幼児の発達や学びの様子、指導の在り方等を把握する。

### (2) 期待する児童の姿を共有する

- ・スタートカリキュラムを通して一人一人が確かに成長することを目指し、期待する児童の姿を明らかにする。
- ・実施期間を検討する。

### (3) スタートカリキュラムをデザインする

#### ①単元の構成と配列

- ・期待する児童の姿に適合した単元を構成し配列する。
- ・幼児期における遊びを通じた総合的な学びから他教科等における学習に円滑に移行し、主体的に自己を発揮しながら、より自覚的な学びに向かうことが可能となるよう、生活科を中心とした合科的・関連的な指導の工夫を行う。

#### ポイント

全ての単元を配列し、俯瞰することができる**単元配列表**を作成する。

#### ②週の計画と時間配分

- ・単元計画に基づいた学習活動を週の計画として時間配分する。
- ・児童の発達の特性や学びの特徴を踏まえ、短い時間で時間割を構成したり、ゆったりとした活動時間を位置付けたりするなど、弾力的な時間割の設定の工夫を行う。

#### ポイント

実践に向けて具体化するために**週案**を作成する。

参照：文部科学省「発達や学びをつなぐスタートカリキュラム」

### 3. 「スタートカリキュラム」の作成

#### ①単元の構成と配列

スタートカリキュラムをデザインする際には、幼児期の発達や遊びを通じた総合的な学びが小学校の学習や生活において発揮できるように、また、児童の思いや願いをきっかけとして始まる学びが自然に教科等の学習につながっていくように、単元の構成と配列を行うことが大切です。主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出そうとする児童の姿を実現するための方法として、生活科を中心とした合科的・関連的な指導の工夫が求められています。

合科的・関連的な指導の工夫を行う際には、学習指導要領で各教科等の目標や内容を確認し、より効果的に展開できるように実施時期や指導方法を調整するなどの工夫が求められます。そのために、生活科と各教科等との単元の関連を明示した単元配列表を作成することが考えられます。

➡ (1) 単元配列表の作成 へ

#### ②週の計画と時間配分

幼稚園・認定こども園・保育所などの幼児教育では、遊びを通して様々なことを総合的に学んでいます。遊びを準備する過程の中で、数を数えたり、試行錯誤して自然の法則に気付いたり、自分の思いを相手に伝えたり、感じたことや見たことを絵で表現したりと、「学びの芽生え」が散りばめられています。これらは、小学校教育の教科学習につながっていくものです。

しかし、小学校では時程が定められており、各教科等に分割して学習を進めていくカリキュラムとなっています。また、チャイムに合わせて行動を変えていくことや、机や椅子を使い、学ぶ場所が決められていることなど、入学を境に学び方が大きく変化します。この学び方に児童の中には大きな戸惑いを感じ、45分間の中で一つの学習に集中できなかつたり、自分のやりたいことを優先してしまい集団で学習できなかつたりすることが起こることもあります。

そこで、接続期は、生活科を核として、児童の幼児期の体験を重視した総合的に学ぶカリキュラムを作り、合科的・関連的な指導の工夫を行い、教科を自然な形で学ぶようにすることが大切です。その際、10分から15分程度の短い時間で時間割を構成したり、児童が自らの思いや願いの実現に向けた活動をゆったりとした時間の中で進めていけるように活動時間を設定したりする弾力的な時間割の設定を行うことが考えられます。スタートカリキュラムを実践していくためには、これらのことを反映させた週案を作成することが必要になります。

➡ (2) 週案の作成 へ

# (1) 単元配列表の作成

- 国語科・音楽科・特別活動等を合科的に指導
- 生活科の指導又は生活科と他教科等を合科的に指導
- 生活科と他教科等を関連的に指導

## < 単元配列表例 (1 学期) >

	4月	5月	6月	7月					
国語	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">おはなしよんで</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">みんなにつたえよう</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">かいてみよう</div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">めいし づくり</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">あいうえお</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">ことばあつめ</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">いろいろなよみかた</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">こえにだしてよもう</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">ぶんをつくろう</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">ことばあそび</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">おはなしを よもう</div>					
算数	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">10までのかず</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">あわせていくつ</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">のこりはいくつ</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">どちらがながい</div>					
生活	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">がっこうだいすき</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">はるの がっこう</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">おおきくそだて</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">なつのしぜん</div>					
音楽	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">うたっておどって</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">リズムにあわせて</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">はるの うた</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">はくをかんじて</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">なつの うた</div>						
図画工作	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">こんなこと はっけん</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">めいし をつく ろう</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">はるを みつけ た</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">ちよき ちよき かざり</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">すきな ものな あに</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">ねんど であそ ぼう</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">みんな みてね</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">うつし てあそ ぼう</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">かみを おって</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">すなや つちで あそぼ う</div>					
体育	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">ゆうぐあそび</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">そとあ そび</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">からだほ ぐしあそ び</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">かけっこ あそび</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">うごきつ くりあそ び</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">りずむあそび</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">ひょうげん あそび</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">みずあそび</div>			
道徳	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">あいさつ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">たのしい がっこう</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">たいせつな いのち</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">ものをたい せつに</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">しんせつに しよう</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">みんな なかよく</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">がんばる ところ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">かんしゃの きもち</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">じぶんの しごと</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">ゆうきを だして</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">しょくぶつ をそだてて</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">すがすがし いところで</div>				
特別活動	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">げんきにおへんじ</div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">じぶんで できるよ ちかくを たんけん</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">たのしい いきゅ うしょく</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">としよ しつへ いこう</div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">かか りのし ごと</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">こうつ うあん ぜん</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">ひなん くんれ ん</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">はをた いせつ にしよ う</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">あめの ひのす ごしか た</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">すきき らいを なくそ う</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">1がっ きをふ りかえ ろう</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">なつや すみの せい かつ</div>

## (2) 週案の作成

### 小学校入学時における教員の思い

小学校入学時の児童に対して、小学校の教員は、児童の思いに寄り添い無理なく指導しようとする反面、「はじめが肝心!」「生活習慣を身に付けさせることが大切!」「学校のルールをきっちり教えておかないと・・・」といった思いが先行してしまい、「〇〇の仕方」や「〇〇の使い方」などの技能を教える時間を優先したカリキュラムを編成することが多くなります。



そのため、下のような第一週の時間割を計画することが多くなります。

	第1日	第2日	第3日	第4日	第5日
	4/〇(月)	4/〇(火)	4/〇(水)	4/〇(木)	4/〇(金)
1		学活 ・挨拶の仕方 ・返事の仕方 ・荷物の片付け方	国語 ・鉛筆の持ち方 ・書写プリント	音楽 ・並び方 ・貨物列車	算数 ・同じ仲間 ・数え方
2	入学式	学活 ・並び方 ・トイレの使い方 ・靴箱の使い方	学活 ・歌を歌う ・個人写真	体育 ・遊具の使い方	健康診断
3	学活	学活 ・帰りの用意 ・下校時の並び方 ・下校の仕方	生活 ・雑巾のかけ方 ・帰りの用意	体育 ・50m走の練習 ・体操服の片付け方	国語 ・自分の名前
4				生活 ・給食の約束 ・給食の準備	学活 ・学校のルール ・給食の準備

小学校入学時は、児童が安心して学校生活を送り、**主体的に自己を発揮**できるようにすることが大切です。そのために、時間割の枠を越え、ゆったりとした時間の中で合科的・関連的に指導できるようにします。

幼児期に親しんできた活動を取り入れ、児童が一日の始まりを安心して  
楽しい気持ちで迎えられるようにします。

1時間目を15分ずつに分け、3つの教科等の内容で構成します。

元気におへんじ

朝の挨拶や返事をしたり、見つけたこととお話したりします。(学活1/3)

歌っておどって

児童に馴染みのある歌をリズムに乗っておどりながら歌います。(音楽1/3)

おはなし読んで

教員が絵本を読み聞かせた後、みんなで感想を伝え合います。(国語1/3)

第1週の週案例

	第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第5日目
1校時	入学式	学級活動・音楽・国語 ○なかよくあそぼう ・挨拶リレーをし、元気よく朝の挨拶をする ・曲に合わせて歌ったり動いたりして心と体を解す ・読み聞かせを聞き、お話クイズをする	音楽・算数・国語 ○なかよくあそぼう ・既知の曲等に合わせて歌ったり、動いたりする ・数字の曲から、1から5までの数の唱え方を知る ・読み聞かせを聞き、お話クイズをする	音楽・算数・国語 ○なかよくあそぼう ・貨物列車の曲に合わせて動きながら友達と関わる ・貨物列車で何人つながったか数唱する ・読み聞かせを聞き、絵本の内容について話し合う	音楽・算数・国語 ○なかよくあそぼう ・貨物列車の曲に合わせて動きながら友達と関わる ・貨物列車で何人つながったか数唱する ・読み聞かせを聞き、絵本の内容について話し合う
2校時		生活 ○がっこうだいすき ・1年生になってやってみたことを考えて発表し合う	生活・算数・学級活動 ○がっこうだいすき ・トイレの使い方や靴箱の使い方など教室の外で自分でできることを学ぶ(60分)	生活 ○がっこうだいすき ・給食室に行き、給食が作られる様子を見学する	図工・国語・生活 ○がっこうだいすき ・給食室で見つけたものを思い出し、絵を描く ・自分が発見したことをみんなに伝える
3校時		学級活動 ○がっこうはたのしいところ ・入学式の後に友達や先生と遊びながら関わることを通して、これからの学校生活への安心感をもつ	生活・算数・学級活動 ○じぶんでできるよ ・荷物の片付け方や身支度の仕方など教室で自分でできることを学ぶ	生活・学級活動 ○じぶんでできるよ ・荷物の片付け方や身支度の仕方など教室で自分でできることを学ぶ(30分)	
4校時				学級活動 ○たのしいきゅしよく ・栄養教諭の話聞いて、給食で気を付けることをみんな考える	学級活動 ○きゅうしよくのときは ・前日の給食の時間を振り返り、給食の時間に気を付けることを考える

生活科の単元「がっこうだいすき」を中心としたカリキュラムを編成します。他教科等は、この単元に関連付いた内容を設定し、合科的・関連的に指導できるよう工夫することで、幼児期の学びが各教科等の学習に円滑に接続されるようにします。

- 国語科・音楽科・特別活動等を合科的に指導
- 生活科の指導又は生活科と他教科等を合科的に指導
- 生活科と他教科等を関連的に指導

## 合科的・関連的な指導

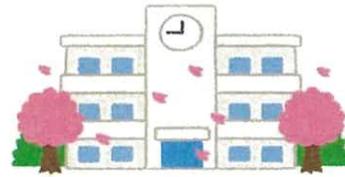
	捉え方	タイプ (例)
合科的な指導	各教科のねらいをより効果的に実現するための指導方法の一つで、単元又は1コマの時間の中で、複数の教科の目標や内容を組み合わせて、学習活動を展開するもの	<p>【合科】 生活科を中心とした単元の学習活動において、複数の教科の目標や内容を組み合わせて学習活動を展開することで、指導の効果を高める</p> 
関連的な指導	教科等別に指導するに当たって、各教科等の指導内容の関連を検討し、指導の時期や指導の方法などについて相互の関連を考慮して指導するもの	<p>【関連A】 生活科の学習成果を他教科等の学習に生かす</p> 
		<p>【関連B】 他教科等の学習成果を生生活科の学習に生かす</p> 

## 合科的・関連的な指導の具体例

【合科】	生活科の学校探検で気付いたことなどを言葉で表現したり、友達と伝え合ったりする学習活動において、国語科の資質・能力「伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること」について指導することで、より効果的にねらいの実現を図る
【関連A】	生活科で春の自然を観察したり、自然のもので遊んだりする体験が、音楽科で春の歌の曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付くことに生かされるように関連を意識して指導する
【関連B】	算数科で育成する、ものとものを対応させることによって、ものの個数を比べることや、個数の順番を正しく数えたり表したりする知識及び技能が、生活科の学校探検で見付けたものを数える際に生かされるように関連を意識して指導する

参照：文部科学省「発達や学びをつなぐスタートカリキュラム」

# 第1週の週案例



## 週案作成のポイント

第1週目に大切にしたいことは、入学してきた子どもたちが安心感をもち、生き生きと自己発揮できるようにすることです。

3月までは、各園所等でリーダーとしての役割を果たしてきた子どもたち。入学してからもその力を発揮するためには、安心して学校生活を過ごせるようにすることです。そのためにも、朝の遊びや授業中に先生や友達と関わり合えるような活動を通して、担任の先生や友達との関係を築いていくことが大切です。また、授業だけでなく学校生活の様々な機会においてこれまでの園所や家庭での経験を振り返らせることで「小学校でも、これまでの自分の経験を生かせる」と自己発揮を促すことが大切です。

	第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第5日目
1校時	入学式	学級活動・音楽・国語 ○なかよくあそぼう ・挨拶リレーをし、元気よく朝の挨拶をする ・曲に合わせて歌ったり動いたりして心と体を解す ・読み聞かせを聞き、お話クイズをする <b>活動例1</b>	音楽・算数・国語 ○なかよくあそぼう ・既知の曲等に合せて歌ったり、動いたりする ・数字の曲から、1から5までの数の唱え方を知る ・読み聞かせを聞き、お話クイズをする	音楽・算数・国語 ○なかよくあそぼう ・貨物列車の曲に合わせて動きながら友達と関わる ・貨物列車で何人つながったか数唱する ・読み聞かせを聞き、絵本の内容について話し合う <b>活動例4</b>	音楽・算数・国語 ○なかよくあそぼう ・貨物列車の曲に合わせて動きながら友達と関わる ・貨物列車で何人つながったか数唱する ・読み聞かせを聞き、絵本の内容について話し合う
2校時		生活 ○がっこうだいすき ・1年生になってやってみたいことを考えて発表し合う	生活・算数・学級活動 ○がっこうだいすき ・トイレの使い方や靴箱の使い方など教室の外で自分のできることを学ぶ(60分) <b>活動例3</b>	生活 ○がっこうだいすき ・給食室に行き、給食が作られる様子を見学する <b>活動例5</b>	図工・国語・生活 ○がっこうだいすき ・給食室で見付けたものを思い出し、絵を描く ・自分が発見したことをみんなに伝える <b>活動例6</b>
3校時	学級活動 ○がっこうはたのしいところ ・入学式の後に友達や先生と遊びながら関わることを通して、これからの学校生活への安心感をもち	生活・算数・学級活動 ○じぶんでできるよ ・荷物の片付け方や身支度の仕方など教室で自分のできることを学ぶ <b>活動例2</b>	生活・学級活動 ○じぶんでできるよ ・荷物の片付け方や身支度の仕方など教室で自分のできることを学ぶ(30分)		
4校時				学級活動 ○たのしいきゅしよくは ・栄養教諭の話聞いて、給食で気を付けることをみんなで考える	学級活動 ○きゅうしよくのときは ・前日の給食の時間を振り返り、給食の時間に気を付けることを考える

## 指導のポイント

### 小学校の楽しさを伝える

- 授業や生活の中で、遊びの要素を取り入れながら活動し、緊張感を和らげながら楽しめるようにする。
- 授業や遊び、生活の中で、子どもができたことを認め、自信をもたせる。

### 基本的な生活習慣や基本姿勢の大切さを考えさせる

- 学校での基本的な生活習慣を丁寧に伝え、確実に身に付けられるようにする。
- 元気にあいさつや返事ができるようにする。
- 自分勝手な行動を見逃さず、声をかける。

### これまでの経験を生かし、自信をもって取り組ませる

- 各園所等で行っていた遊びを取り入れ、環境が変わる中でも自信をもって生活できるきっかけをつくる。
- 授業や生活の中で、各園所等で行ってきたことを思い出させたりしながら、自分ができることとして自信をもたせる。



## 第2週の週案例

### 週案作成のポイント



入学して1週間が過ぎると、安心して学校生活を送ることができる子どもも多くなってきます。自分たちの教室のある階にはどんな場所があるのか気になったり、他の階や校舎の外も探検してみたいという思いが生まれたりするなど、興味・関心は自分を中心に周囲へと広がっていきます。そういった子どもたちの思いを生かし、学校探検の行き先を少しずつ広げたり、クラスの友達と行った名刺交換を学年以外の先生とするようにしたりして、安心して行ける場所や安心して関わられる先生を増やしていくことが考えられます。

	第6日目	第7日目	第8日目	第9日目	第10日目
1校時	音楽・算数・国語 ○なかよくあそぼう ・貨物列車の曲に合わせて動きながら友達と関わる ・貨物列車で何人つながったか数唱する ・読み聞かせを聞き、絵本の内容について話し合う	音楽・算数・国語 ○なかよくあそぼう ・セブンステップなどの曲を使い、動と静を意識しながら歌い体を動かす ・教室にあり1から5までの数字探しをする ・読み聞かせを聞き、絵本の内容について話し合う	音楽・算数・国語 ○なかよくあそぼう ・セブンステップなどの曲を使い、動と静を意識しながら歌い体を動かす ・教室にあり1から5までの数字探しをする ・読み聞かせを聞き、絵本の内容について話し合う	音楽・算数・国語 ○なかよくあそぼう ・貨物列車の曲に合わせて動きながら友達と関わる ・貨物列車で何人つながったか数唱する ・読み聞かせを聞き、お話クイズをする	音楽・算数・国語 ○なかよくあそぼう ・貨物列車の曲に合わせて動きながら友達と関わる ・貨物列車で何人つながったか数唱する ・読み聞かせを聞き、お話クイズをする
2校時	生活 ○がっこうだいすき ・もう一度、やってみたいことを発表し合う	生活・算数 ○がっこうだいすき ・名刺交換をする ・名刺の数を数える <b>活動例8</b>	生活 ○がっこうだいすき ・グループで決めた場所に探検に行く <b>活動例10</b>	生活 ○がっこうだいすき ・グループで決めた場所に探検に行く	図工 ○がっこうだいすき ・学校探検で見つけたものを思い出し、絵を描く
3校時	体育・算数 ○そとあそび ・遊具遊びや鬼遊びなど、自分がしたい外遊びを選んで遊ぶ	学級活動・生活 ○がっこうだいすき ・4人程度の生活班を作り、グループ遊びをする ・グループで校庭の他にやりたい場所を考えて決める <b>活動例9</b>			
4校時	生活・学級活動 ○がっこうだいすき ・自分がした遊びや校庭で見つけたものについて発表する <b>活動例7</b>		国語 ○かいてみよう ・姿勢や鉛筆の持ち方に気を付けて、平仮名を書く	算数 ○10までのかず ・「いち」から「ご」までの数詞唱え方、数え方を学ぶ	国語 ○かいてみよう ・姿勢や鉛筆の持ち方に気を付けて、平仮名を書く
5校時	生活 ○めいしをつくらう ・名刺交換に向けて、名刺をつくる	道徳 ○あいさつ ・気持ちのよい挨拶をすると自分も相手も気持ちよく過ごせるようになることに気づき、誰とでも明るく挨拶しようとする態度を養う	算数 ○10までのかず ・同じ数の集合を見付ける	体育 ○ゆうぐあそび ・ジャングルジム、登り棒など自分がしたい外遊びを選んで遊び、いろいろな遊びを試してみる	算数 ○10までのかず ・1～5の数字の読み方、書き方、数の構成を理解する

### 指導のポイント

#### 学校での生活の仕方を教える

- 運動場・保健室・職員室・体育館・図書室など生活に必要な場所であることを確認する。
- さまざまな場所の使い方やそこでのルールを丁寧に確認する。
- チャイムを合図とした時間の区切りを知らせ、休み時間は元気に体を動かして過ごす気持ちよさを体感できるようにする。

#### 学習規律を教える

- 椅子の座り方や鉛筆の持ち方などを繰り返し丁寧に指導する。
- 「～です」「～ます」を使った発表ができるようにする。
- 運筆や音読などの学習を通して、学ぶ意識を高める。

#### 新しい友達をつくれるようにする

- クラスで自己紹介をし、友達を知るきっかけをつくる。
- 体育や生活の時間に、集団遊びを取り入れ、クラスの友達とのつながりをつくる。
- 下校時に同じ地区の友達の顔や名前を覚えるように声をかける。



## 第3週の週案例

### 週案作成のポイント

安心感の下で自己発揮をしながら、友達と楽しく関わることができる子どもたちが増えてきます。そのことにより、教科等の学びも豊かになっていく時期です。国語や算数の学習などの短時間の帯授業により、子どもも見通しをもち、集中して取り組めるようになってきます。

一方で図工のようにじっくりと取り組みたい授業では、たっぴりと時間を設定したり、生活科の学校探検から各教科等の学習につなげ、関連的に学習したりすることも大切です。

また、安心して学校生活を過ごせるようになることから、周りのことにも目を向けられるようになり、係活動や当番活動などにも取り組めるようになります。子どもたちの興味・関心を集団での活動に向けられるような活動に取り組む時期でもあります。

	第11日目	第12日目	第13日目	第14日目	第15日目
1校時	算数・国語 ○なかよくあそぼう ・教室の中にある10までの物を探し、数の概念を養う ・読み聞かせを聞き、お話クイズをする	算数・国語 ○なかよくあそぼう ・教室の中にある10までの物を探し、数の概念を養う ・読み聞かせを聞き、お話クイズをする	算数・国語 ○なかよくあそぼう ・教室の中にある10までの物を探し、数の概念を養う ・読み聞かせを聞き、お話クイズをする	算数・国語 ○なかよくあそぼう ・教室の中にある10までの物を探し、数の概念を養う ・読み聞かせを聞き、お話クイズをする	学校行事 ○1年生を迎える会
2校時	国語・生活 ○がっこうだいすき ・学校探検で自分が発見したことをみんなに伝える <b>活動例II</b>	生活 ○がっこうだいすき ・自分たちが通っている通学路に何があるか考える	生活 ○がっこうだいすき ・安全に登下校することについて考えながら、通学路を探検する	道徳 ○たのしいがっこう ・学校で世話になっている人々の存在に気づき、感謝する気持ちを具体的な言動に表す大切さについて考える	体育 ○ゆうぐあそび ・ジャングルジム、登り棒、鉄棒、雲底などの中から自分に合った遊具を考えて遊ぶ
3校時		体育 ○ゆうぐあそび ・鉄棒の遊び方を知って、いろいろな遊びを試してみる		体育 ○ゆうぐあそび ・雲底の遊び方を知って、いろいろな遊びを試してみる	音楽 ○リズムにあわせて ・知っている歌を探し、その音源を聴きながら、合わせて歌ったり、身振りをしたりする
4校時	算数 ○10までのかず ・6～10の数字の読み方、書き方、数の構成の理解する	国語 ○あいうえお ・姿勢や口形、発声、発音に気を付けて教科書を読む	算数 ○10までのかず ・ものの個数を絵や図で表したり、読み取ったりする	国語 ○ことばあつめ ・新たなひらがなを学習し、その平仮名で始まる言葉を見付ける	学級活動 ○としよしつへいこう ・図書館は本がたくさんあって楽しい便利なところであることを知る
5校時	国語 ○あいうえお ・姿勢や口形、発声、発音に気を付けて教科書を読む	算数 ○10までのかず ・ものの個数を絵や図で表したり、読み取ったりする	国語 ○あいうえお ・「あいうえお」で始まる言葉を見付け、声に出して読む	算数 ○10までのかず ・具体物をつかって5～10の数の合成を学ぶ	国語 ○ほんをよもう ・読み聞かせを聞いたり、自分で本を選んで読んだりする

### 指導のポイント

#### 学習規律を身に付けさせる

- 授業を受けるための正しい姿勢や、教員や友達との受け答えのよい例を積極的に認める。
- ノートや筆箱などの教材の置き方・使い方を丁寧に確認する。
- チャイムを意識して行動できるように繰り返し声かけをする。

#### 給食指導を通して、給食に興味をもたせる

- 適切な手洗い及び身支度ができるように指導する。
- 安心して給食を食べられるように個々に配慮する。
- 箸、食器の正しい配膳や使い方を知らせ、できていることを積極的に認める。
- 食べられる量を配膳し、決められた時間内に残さず食べられるよう見通しをもたせる。
- 給食当番の仕事を責任をもって取り組むことのよさを伝える。

#### 自分の役割を意識させ、協力関係をつくらせる

- 当番活動や班活動においては互いに協力しながら取り組むように声かけをする。
- ほうきやちりとり、ぞうきんなどのそうじ用具の使い方やそうじの仕方を丁寧に確認する。



## 第4週の週案例

### 週案作成のポイント

この時期の児童は、今から何の教科が始まるのか、今日はどこのページから始まるのかなど、学ぶということに対してより自覚的になってきます。また、次の授業はいつ始まっていつ終わり、休み時間は何分間あるなど時間割に基づいた学校生活の流れに意識が向いてくることでしょう。

そういう児童の実態を意識して声をかけるなどとすると、スムーズに学校生活を送ることができるでしょう。授業の中では、めあてを意識して学んだり、自分たちで少しずつ見通しをもってより主体的に学習を進めたりできるようにしましょう。

	第16日目	第17日目	第18日目	第19日目	第20日目
1校時	算数・国語 ○なかよくあそぼう ・教具のブロックなどを使い提示されたブロックの数を素早く数唱する ・読み聞かせを聞き、お話クイズをする	算数・国語 ○なかよくあそぼう ・教具のブロックなどを使い提示されたブロックの数を素早く数唱する ・読み聞かせを聞き、お話クイズをする	算数・国語 ○なかよくあそぼう ・1から10までの2つの数字を選び、大きさ比べクイズを行う ・読み聞かせを聞き、絵本の内容について話し合う	算数・国語 ○なかよくあそぼう ・1から10までの2つの数字を選び、大きさ比べクイズを行う ・読み聞かせを聞き、絵本の内容について話し合う	算数・国語 ○なかよくあそぼう ・1から10までの2つの数字を選び、大きさ比べクイズを行う ・読み聞かせを聞き、絵本の内容について話し合う
2校時	国語・生活 ○がっこうだいすき ・通学路で自分が発見したことをみんなに伝える	生活 ○はるのがっこう ・校庭の春について発表し合う	算数 ○10までのかず ・生活科の時間に見付けた花を種類で分け、数を数えたり、比べたりする	図工 ○はるをみつけた ・生活科の時間に春の自然を使って遊んだことを絵に描く	体育 ○からだほぐしあそび ・手軽な運動遊びを行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わう
3校時	体育 ○からだほぐしあそび ・みんなでいろいろな運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わう	生活・学級活動 ○はるのがっこう ・タブレットの使い方を確認し、校庭で春を感じるものの写真を撮る ・タブレットの使い方について考える	生活 ○はるのがっこう ・校庭で見付けた春の自然を使って遊ぶ		国語 ○ことばあつめ ・平仮名を選んで言葉を集め発表する
4校時	算数 ○10までのかず ・具体物を使って1～5の数の合成を学ぶ	活動例12	活動例13	国語 ○ことばあつめ ・新たな平仮名を学習し、その平仮名で始まる言葉を見付ける	道徳 ○ものをたいせつに ・自分の持ち物を大切に、身の回りを整えて、気持ちのよい生活ができることについて考える
5校時	国語 ○あいうえお ・「あいうえお」で始まる言葉を見付け、声に出して読む	算数 ○10までのかず ・具体物を使って1～5の数の合成を学ぶ	音楽 ○はるのうた ・生活科の時間に春の自然を使って遊んだことを思い出しながら、春の歌を歌う	算数 ○10までのかず ・具体物を使って1～5の数の合成を学ぶ	国語 ○ことばあつめ ・平仮名を選んで言葉を集め発表する

### 指導のポイント

#### 楽しく宿題に取り組ませる

- 宿題を頑張ったことを認めたり、褒めたり、励ましたりしながら学習意欲を高めるとともに、自己学習に対する自信をもたせる。
- ぬり絵やイラストを活用するなど、宿題を楽しんで取り組めるような工夫をする。
- 宿題の内容や提出期限などをしっかりと伝え、自ら考え、取り組んでいけるようにする。

#### 協働的な学習活動を経験させる

- 様々な学習活動を友達と一緒に頑張れるように、グループ学習や協同して学ぶ場を設定する。
- 学習の中での発見や課題を解決した喜びを友達と共有できるようにする。

#### 学校生活のルールを定着させる

- 時間割にそって、次の授業内容を意識しながら、自ら進んで授業準備ができるようにする。
- 授業時間と休み時間の区切りを定着させ、チャイムを意識した行動ができるようにする。
- 視覚教材を用いて、流れを提示することで、スムーズに行動できるようにする。



## 第5週の週案例

### 週案作成のポイント

この時期の児童は、入学当初と比べて、学校での基本的な生活の流れや教室での過ごし方、学年だけでなく関わりのある先生方にも慣れ始め、落ち着いて学校生活を送れるようになってきます。また、各教科等の学習にも見通しをもって取り組むことができるようになってきます。

4月に取り組んだ総合的・関連的に指導する授業から、少しずつ通常の時間割による教科等の学習に移行していきます。これまでと同様に就学前の教育で児童が身に付けてきたことをしっかりと生かし、さらに伸ばす方向で指導することが大切です。



	第21日目	第22日目	第23日目	第24日目	第25日目
1校時	国語 ○こえにだしてよもう ・絵と言葉を結び付けて、語のまとまりや言葉の響きに気を付けながら音読する	国語 ○こえにだしてよもう ・場面や登場人物の様子を想像しながら音読する	図工 ○ちよきちよきかざり ・はさみの扱いに慣れ、紙の切り方を工夫して、思いに合った形に切り取り、教室が楽しい感じになる飾りをつくる	生活 ○おおきくそだて ・育てたい植物を決め、種をまくために必要なことを話し合う <b>活動例14</b>	国語 ○ぶんをつくろう ・主語と述語の関係を考えて文を作る
2校時	生活 ○はるのがっこう ・図工の時間に描いた絵を友達と見せ合い、春について感じたことを発表する	体育 ○かけっこあそび ・いろいろなくねくねコースを作って走ったり、友達の作ったコースを走ったりする		算数・生活 ○10までのかず ・生活科の時間に育てるアサガオの種を使って、数を数えたり、比べたりする	体育 ○かけっこあそび ・走ったり跳んだりする簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝える
3校時	体育 ○かけっこあそび ・いろいろなくねくねコースを作って走ったり、友達の作ったコースを走ったりする	音楽 ○リズムにあわせて ・速度の変化などを感じ取りながら音源を聴いて、合わせて足踏みしたり体を動かしたりする	国語 ○いろんなよみかた ・促音の読み方、書き方について知る	生活 ○おおきくそだて ・アサガオの種をまき、記録カードに記録する	音楽 ○リズムにあわせて ・音楽に合わせて足踏みしたり体を動かしたりして、それぞれの曲に合う動きを考える
4校時	算数 ○10までのかず ・1～10の数の大小、系列を理解する	国語 ○こえにだしてよもう ・動作化したり、みんなで音読したりする	算数 ○10までのかず ・1～10の数の大小、系列を理解する ・空集合としての「0」の意味を知る	道徳 ○たいせつないのち ・生活科の種まき体験を基に自然に親しみ、動植物に優しく接することの大切さについて考える	国語 ○ぶんをつくろう ・写真や絵を基にした文を作り、発表する
5校時	国語 ○こえにだしてよもう ・絵と言葉を結び付けて、語のまとまりや言葉の響きに気を付けながら音読する	算数 ○10までのかず ・10までの数の系列を多面的にとらえる	国語 ○いろんなよみかた ・濁音、半濁音の書き順を学び、濁点、半濁点の位置に気を付けて書く	国語 ○いろんなよみかた ・促音や濁音、半濁音のある言葉を使って簡単な文を書く	学級活動 ○かかりのしごと ・自分たちの生活に必要な役割を考え、担当を決める



## 目標

特活：一日を気持ちよくスタートできるように活動することができる。

音楽：友達と一緒に声を合わせて歌ったり、体を動かしながら音楽を聴いたりする学習に楽しんで取り組む。

国語：読み聞かせを聞き、感じたことや分かったことを共有することができる。

児童の活動内容	教員の関わり
<b>活動①「元気におへんじ」(特活)</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝の挨拶や返事をする。</li> <li>○見付けたこと、気付いたことなどを話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶や返事をするときの姿勢や声の大きさを伝える。</li> <li>・児童が話しやすくなるような話題を見付けておく。(校庭の植物や、朝休みの遊びの様子など)</li> </ul>
<b>活動②「歌っておどって」(音楽)</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○「大きな栗の木の下で」を体で表現しながら歌う。</li> <li>○ゲーム「貨物列車」で遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲の速さを変えるなど静と動を意識させ、楽しみながら体を動かすことができるようにする。</li> <li>・ゲームのルールを丁寧に説明し、理解させる。</li> </ul>
<b>活動③「おはなし読んで」(国語)</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○絵本の読み聞かせを聞く。</li> <li>○絵本の内容についてのクイズに答える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10分間程度で読み終わられる絵本を選んでおく。(名作と呼ばれている本、昔話、言葉遊びの本、数を数える本、季節の行事に関わる本、次の学習活動につながる本など)</li> <li>・絵本の内容についてのクイズを準備しておく。(主人公の名前は何か、どんな出来事があったかなど)</li> </ul>

活動例 2



「じぶんでできるよ」

(生活 1 / 3 時間 算数 1 / 3 時間 特活 1 / 3 時間)

目標

生活：自分の持ち物を整理することのよさに気付くことができる。

算数：ものとものを対応させることによって、ものの個数を比べることができる。

特活：学級にあるものの使い方等について理解することができる。

児童の活動内容	教員の関わり
<b>活動①「自分の持ち物を整理しよう」(生活)</b>	
<p>○自分の荷物を整理しながら、分からないことや不思議に思うことを出し合い、解決する。</p>	<p>・児童の生活経験などを想起させ、整理することのよさや、整理する時に大切なことを考えさせる。</p>
<b>活動②「教室にあるものを仲間分けしてみよう」(算数)</b>	
<p>○教室にあるものを見付け、観点や条件に応じて仲間をつくる。 (黒板、黒板消し、机、椅子、絵…)</p>	<p>・形や性質の特徴について視点を向けられるように、児童の意見を引き出して、話し合わせる。</p>
<p>○教室の中にあるものについて、1対1対応しながら数量の多少を比べる。</p>	<p>・一人一人の考えを認めながら、数量関係について指導してまわる。</p>
<b>活動③「みんなが気持ちよく使えるようにしよう」(特活)</b>	
<p>○自分の荷物の整理の仕方や教室の中にある机、椅子やロッカーなどの使い方について話し合う。</p>	<p>・児童の意見を拾い上げながら、自分の荷物やみんなで使うものは、丁寧に扱ったり、整頓して保管したりすることが大切であると気付かせる。</p>
<p>○教室をみんなが気持ちよく使うにはどうしたらよいかを話し合う。</p>	

活動例 3



「みんなで気持ちよくすごそう」(60分)

(生活 2 / 3 時間 算数 1 / 3 時間 特活 1 / 3 時間)

目標

生活：学校の中にあるものに関心をもって関わり、思いや願いをもって施設を利用しようとする。

算数：ものどもの対応させることによって、ものの個数を比べることができる。

特活：学校の各施設の基本的な使い方を理解し、行動することができる。

児童の活動内容	教員の関わり
<p><b>活動①「みつけたもの、なあに」(生活)</b></p>	
<p>○学校探検を通して見つけたものや不思議に思ったことなどを振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室の近くにある設備等で見つけたものを発表させる。</li> <li>・これから毎日使うものであることを確認する。</li> </ul>
<p><b>活動②「学校の中のものを仲間分けしてみよう」(算数)</b></p>	
<p>○学校の中にあるものを観点や条件に応じて仲間分けをする。</p> <p>(手洗い場、トイレ、スリッパ…)</p> <p>○学校の中にあるものについて、1対1対応しながら数量の多少を比べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真等を準備しておき、イメージしやすいようにする。</li> <li>・一人一人の考えを認めながら、数量関係について指導する。</li> </ul>
<p><b>活動③「みんなが気持ちよく使えるようにしよう」(特活)</b></p>	
<p>○蛇口やトイレの使い方について話し合う。</p> <p>○手洗い場やトイレをみんなで気持ちよく使うにはどうしたらよいかを話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の意見を拾い上げながら、みんなで使うものは、丁寧に扱ったり、次に使う人の気持ちを考えたりすることが大切であると気付かせる。</li> </ul>